

スチールバリア®



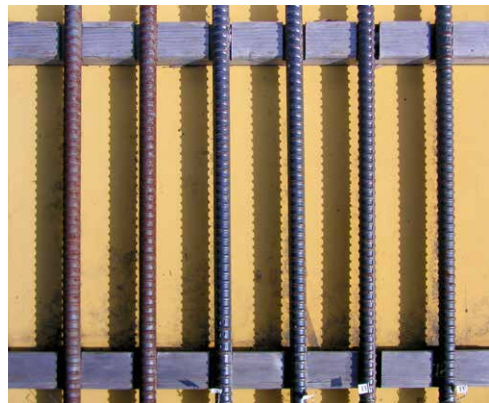
スチールバリアは、用途別に4タイプ(水系3、溶剤系1)を取り揃えております。
火災予防や環境安全性を重要視する都市圏、食料生産地(農業・畜産業・漁業)、密閉状態の工場内・トンネルでの施工には、スチールバリア水系をお奨めします。

1. スチールバリアの種類

品番	種類	屋外防錆	特長他
タイプⅠ	水系	15～30日間	・短期の一次防錆 ・屋内保管材の防錆
W-100	水系	90～180日間	・一般的な用途 ・環境配慮のニーズに最適
タイプⅡ	溶剤系	180～300日間	・塩害の厳しい港湾・海岸線対応 ・長雨期 寒冷地冬期対応
線材用	水系	屋内60日間	・なまし鉄線、普通鉄線用 ・屋内保管時の品質維持
姉妹品			
ソベリン	溶剤系	90～180日間	・汎用タイプ ・超速乾性
サルフィックスW	溶剤系	90～180日間	・溶接可能タイプ (優れた塗布後の溶接性)

- 防錆効果は、気候・環境などの条件により差が生じます。
- 鉄筋曲げ部・切断部は特に錆び易くなっておりますので2度塗りをお勧めいたします。

2. 屋外暴露試験



生材 W100 比較材
360日暴露

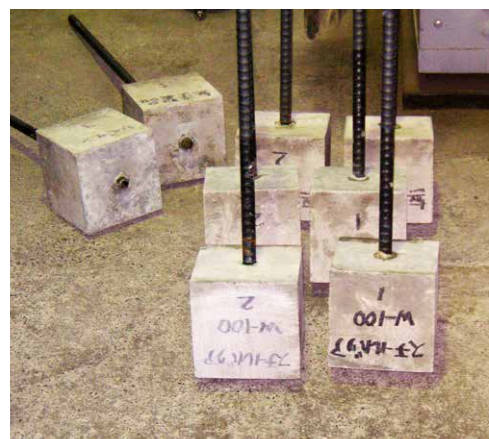


スチールバリア W100
270日暴露



鉄鋼メーカー工場内(噴霧)

4. 付着強度試験



付着強度試験被検体



被検体作製状況

エポキシ樹脂塗装鉄筋の付着強度試験
(JSCE-E516-2003に準拠)

種類	無塗装鉄筋に対する付着応力度の割合
タイプ I	101%
W-100	104%
タイプ II	95%

※ 土木学会規準 85%以上

5. 主な仕様

項目	タイプ I	W-100	タイプ II
荷姿(石油缶)	16kg/缶		15kg/缶
塗布方法	噴霧・浸漬・刷毛 いずれも可能		
塗布面積 (鉄筋D-25塗布目安)	8t(2,000m)/缶		7t(1,750m)/缶
消防法危険物分類	該当せず		第4類第1石油類

※取扱いについては、SDS(安全データシート)をご参照下さい。

6. 実績および被塗品

- 実績 : 橋梁上下部、鉄道、新幹線、高速高架、トンネル、建築、港湾、河川、護岸、擁壁等
- 被塗品 : 鉄筋全般、鋼材、せん断補強筋、開口補強筋、グリット筋、カップラー等



日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43
Tel: 0467-79-5711 Fax: 0467-79-5477
URL: <http://www.ncpaint.co.jp>
Email: info@ncpaint.co.jp

お問い合わせ先